

明けましておめでとうございます

新しい年を迎え、元気な子ども達の笑顔に会えたことをうれしく思います。ご家庭ではどんなお正月をお過ごしでしたか。久しぶりに会う子ども達は、目を丸くさせ、自分たちの体験したことを先生達にもたくさん話して聞かせてくれます。日本のお正月の良さなどこれからもしっかり伝えていきたいですね。

今年も、子ども達の幸せと成長のために、そして明るく意欲的な子どもに育つよう一日一日を大切に、職員一同懸命頑張ります。また、ご家庭の皆様と心を合わせ取り組んでまいりたいと思いますのでご協力よろしくお願いいたします。

3学期は一年間の集大成です。どの子ども最後まであきらめずに頑張り、楽しみながら自分から取り組む姿勢、各クラス皆で言っている『森っ子』の言葉のようにやさしい心・つよい心・そしてどんなときも自分で考えて、自分でやってみることが出来る子になってくれると信じています。

「愉快に楽しくそして時々厳しく」をモットーに、日々の積み上げを大切にわくわくドキドキした充実した毎日を送っていきたくと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

園長 村田 純子

副園長のつぶやき

新年明けましておめでとうございます

新年がスタートし、平成20年度も3学期を残すのみとなりました。子ども達が成長している姿を運動会や音楽会等の行事やご家庭での生活の中で感じられたことも多かったと思います。

ところで、幼稚園では落葉樹の葉が落ちて、トムソーヤの森もちょっと淋しい感じがしています。しかし、春に向けて蕾をつけ始めている木々も見かけられます。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、トムソーヤの森の樹木には木の名前を書いたプレートをつけています。これは、森の木を卒業した子ども達は自然の事について詳しくなって欲しい。そして、それだけではなく、自然を大切にする人になって欲しい。そのような思いでこのプレートをつけました。自由遊びの時間や午後保育の中では、教師も森を通じて四季の移り変わりや、命の大切さを伝えています。

大人になっても平気で木の枝等折って欲しくない。川や池を汚して欲しくない。本当にそう思います。

できる事が増えることは子どもにとって大事な事。しかしそれだけではなく、その事を通じて、「森っ子」にある心が成長できるようにこれからも子ども達にたくさんのお話を伝えていきます。

今年もよろしくお祈り致します。

副園長 鷹取 綱一